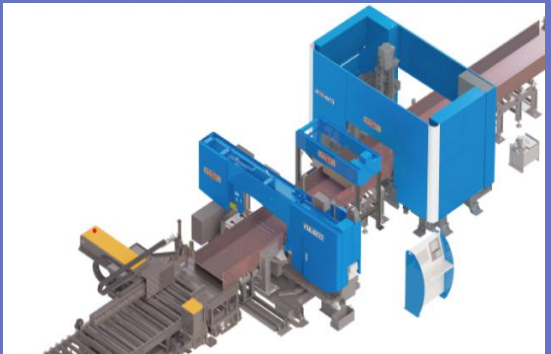




主力商品/切断機とドリル機の自動ライン

- 本社所在地：兵庫県尼崎市
- 事業概要：形鋼加工機の開発・製造・販売
- 常時使用する従業員：220名
(グループ全体・2025年3月時点)
- 現在の売上高：88億円
(グループ全体・2025年3月期)
- 法人番号：7140001053282
- Web：https://www.daito-seiki.com

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
杉本真一

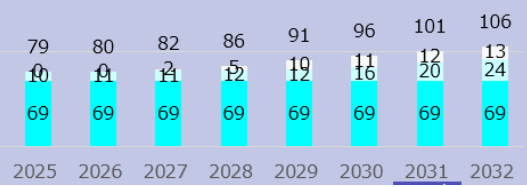
私たちが目指す未来「製造業を、あそび場に。」
日々果たすべき使命「製造現場を、創造現場に変えていく。」

当社は創業以来、形鋼加工機の開発・製造・販売により、危険な作業の機械化・自動化を進めてきました。ユーザーの社員が危険な作業から解放され、創造的な仕事をできる環境を提供することを自社の使命として、当社も成長してきました。新規事業として、溶接業務の機械化・自動化へ取り組みます。当社の使命を果たし、当社と当社の社員も成長し、業容も拡大させていきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

新規溶接事業（自動溶接機の開発・拡販）により、2031年に売上達成を目指します。



課題

- ・新事業として溶接機の開発に取り組みます
- ・国内で初の3Dティーチングレスロボットで自動溶接機を開発します
- ・新事業開始に対応する生産能力の増強とBCP対策として第三工場を建設します
- ・国内外で新溶接事業をメンテナンスできる体制を整えます

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①新規事業「溶接事業への進出」
当社機のユーザーである形鋼加工業者は、主に切断等の加工業務と溶接業務を行っています。当社は切断等の加工業務に自動化の機械を提供してきました。今後は溶接業務の自動化の機械の提供を行ないます。
- ②海外事業の拡大 輸出売上シェア12%→30%
海外メンテナンス人員の育成と海外向け製品のラインアップ拡充、および新規上の溶接自動化製品の拡販

実施体制

- ①溶接事業 溶接開発部門を立上げ、自社で自動制御の溶接機を開発中です。新事業開始による生産能力増強およびBCP対策として6,000㎡の土地は購入済で、建物を2年後に建設予定。3年後以降の本格的な販売を目指しています。
- ②海外シェア拡大 語学力のある優秀なサービスマンの育成のため積極採用と教育チームを新設して育成中。かつ、海外ユーザーに適した商品の開発を同時に行っています。新規溶接事業も海外拡販の有力な製品になります。

溶接新事業により売上高100億円実現の目標と課題）

- ・当社は創業以来70年余、鉄骨加工業界において、人が行っている危険な作業を機械化・自動化を進めてきました。ユーザーの業務を効率化するだけでなく、ユーザーの社員が危険な作業から解放され、創造的な仕事ができる環境を提供することを自社の使命として当社も成長してきました。
- ・今までは、切断、孔明け、切削という、鉄骨加工業の一次加工の分野を主事業領域として製品を提供してきましたが、自動化の遅れている溶接分野（鉄骨加工業の二次加工）の自動化を、当社の新たな使命として新規事業を立ち上げました。溶接事業立ち上げの背景として、当社の主な事業領域である国内建設業の需要は国内の人口減により長期的に減少傾向が予想されます。既存製品だけでは頭打ちの状況が見込まれるため、事業領域の拡大を目指しています。
- ・溶接の自動化には、多品種少量の加工が必要になるため、プログラミングの作業が不要で図面（3DCADデータ）からデータを読み込み自立でロボットが動くティーチングレスロボットの開発が不可欠です。日本の溶接業界では未開のこのシステムを国内大手システム会社と共同で開発中です。
- ・溶接事業の新製品は2026年度完成、2027年度より商品化を目指します。新規溶接事業開始に伴い生産能力の増強が必要なるため第三工場を建設します。本社および第二工場が大阪湾沿岸にあるためBCP対策も必要になり、内陸の兵庫県伊丹市鋳物師に約6,000㎡の土地を購入済。今後、2027年度に向けて第三工場の建設を計画中です。
- ・国内の需要減少をカバーするため、輸出事業の拡大も必須になります。当社のビジネスはメンテナンスが必須となるため語学力のある優秀なサービスマンの育成と、海外ユーザー向けの商品開発も行っています。そして、溶接の新規事業は海外売上拡大にとっても重要な商品になります。

